別表４（事業適応の実施に必要な資金の額及びその調達方法）

事業適応の実施に必要な資金の額及びその調達方法

（単位：千円）

費用＼調達方法	政府関係金融機関からの借入れ	民間金融機関等からの借入れ	自己資金	その他	合計	備考
事業適応の実施に必要な資金の額						

(注)

１．「政府関係金融機関からの借入れ」には政府関係金融機関からの借入れによる調達額を、「民間金融機関等からの借入れ」には政府関係金融機関以外の金融機関等からの借入れによる調達額を、「その他」には出資、社債の発行、リースその他「政府関係金融機関からの借入れ」、「民間金融機関等からの借入れ」及び「自己資金」以外の調達方法による調達額を、それぞれ調達先の名称及び金額の内訳を示しつつ記載する。

２．法第21条の17第１項に基づく認定事業適応関連措置を行うのに必要な資金の貸付けを受けようとする場合にあっては、その旨を、借入先金融機関名を示しつつ「備考」に記載する。

別表５（資金の貸付けの求めに係るエネルギー利用環境負荷低減事業適応計画におけるその他の事項）

資金の貸付けの求めに係るエネルギー利用環境負荷低減事業適応計画におけるその他の事項

⑴　環境への負荷の低減に関する野心的な目標を実現するための戦略の実効性を担保するための管理体制

⑵　自社の事業活動における気候変動の重要性

⑶　環境への負荷の低減に関する野心的な目標に関する実施状況の報告方法・達成状況の検証方法

(注)

１．外部評価機関に認証を受けるに当たって、外部評価機関に対して行った説明の内容を記載すること。ただし、外部評価機関に認証を受けるに当たって作成した書類等の写しを添付することをもって記載に代えることができる。

２．公庫が当該貸付けを行う指定金融機関に対し利子補給金を支給しない場合においては、⑶の記載は要しない。

様式第十八の次に次の十九様式を加える。

様式第十八の二（第11条の３第１項関係）

事業適応計画の認定書

年　月　日

殿

主務大臣　名

年　月　日付けで申請のあった事業適応計画について、産業競争力強化法第21条の15第４項の規定に基づき、同項各号のいずれにも適合するものであると認め、その認定をします。

記

１．認定をした年月日
２．申請者の名称及び代表者の氏名
３．申請者の住所
４．事業適応計画の概要
５．成長発展事業適応に係る確認に係る事項

（備考）

１．用紙の大きさは、日本産業規格Ａ４とする。
２．申請のあった認定申請書及び別紙の写しを添付する。
３．５．を記載する場合は、申請のあった成長発展事業適応に係る確認申請書の写しを添付する。

（記載要領）

５．成長発展事業適応に係る確認に係る事項

主務大臣は、様式第18と併せて様式第18の16の提出を受けた場合は、その内容が、産業競争力強化法第21条の28第１項の規定に基づく経済社会情勢の著しい変化に対応して行うものとして主務大臣が定める基準に適合するものであることを確認したときは、「５．成長発展事業適応に係る確認に係る事項」においてその旨を記載する。

様式第十八の三（第11条の３第２項関係）

事業適応計画の不認定通知書

年　月　日

殿

主務大臣　名

年　月　日付けで申請のあった事業適応計画については、下記の理由により認定をしないものとします。

記

不認定の理由

（備考）

用紙の大きさは、日本産業規格Ａ４とする。

（記載要領）

法第21条の15第４項各号に掲げる事項のうち、認定をしない理由を具体的に記載する。

様式第十八の四（第11条の３第３項関係）

認定事業適応計画の概要の公表

１．認定の日付
２．認定事業適応事業者の名称
３．認定事業適応計画の内容

（備考）

用紙の大きさは、日本産業規格Ａ４とする。

（記載要領）

認定事業適応事業者の事業上の秘密に該当する部分については、これを公表の対象として記載しない。